

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名 No. 580101 みよし市文化協会補助事業		主管課名 生涯学習課								
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		課長名 山崎 正勝						
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち								
		基本事業	文化団体の育成								
	(1)事業の概要										
	みよし市における文化・芸術の育成を図ることを目的に、みよし市文化協会の芸術文化活動費及び運営費に対し助成をしている。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)							
				名称	単位						
				文化協会活動日数	日						
				その指標							
	(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) 自主事業の展示事業として、サンアート、アイモール、ジャスコに毎月展示している。市民茶会の年3回実施。(平成26年11月には県民茶会を開催) 機関紙「みよし文協」の年3回発刊。文芸誌の年1回発刊など文化・芸術活動を積極的に展開している。										
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物) みよし市文化協会に所属している団体			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)								
			名称	単位							
			文化協会団体数	団体							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか) 自主的に活動を行うことができるようにする。			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)								
			名称	単位							
			自主的な活動件数	件							
(4)結果(上位基本事業の意図) 自主的に活動できるようにする。			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)								
			名称	単位							
			自主活動グループ数	団体							
			自主的な活動件数	件							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
(5)の活動指標		日	56	63	70	70	70	70			
(6)の対象指標		団体	29	29	30	30	30	30			
(7)の成果指標		件	67	84	85	85	85	85			
(8)の結果の成果指標		団体	97	97	100	100	100	100			
		件	67	84	85	85	85	85			
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	03
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	4,855	2,700	2,800	4,000	2,800	2,800			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	4,855	2,700	2,800	4,000	2,800	2,800			
人件費 B		千円	2,608	1,361	1,361	1,361	1,361	1,361			
正職員従事時間×人数		時間×人	142 × 5	160 × 2	160 × 2	160 × 2	160 × 2	160 × 2			
正職員以外の人件費		千円	169	169	169	169	169	169			
その他費用 C		千円	375	375	375	375	375	375			
トータルコスト A+B+C		千円	7,838	4,436	4,536	5,736	4,536	4,536			
単位あたりコスト		千円/ 団体	270	153	151	191	151	151			
(トータルコスト / (6)の対象指標)		千円/									
		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	580101	みよし市文化協会補助事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭和三十九年度 から			会員の高齢化などにより、会員数・団体数の維持が難しくなってきた。 平成29年度はみよし市文化協会創立50周年であるため、記念事業を行う予定。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
市民の文化・芸術への意識高揚と学習者の発表機会の創出のため。			文化協会の自立に向け、専任職員の育成、協会組織の見直し、市の関与のあり方等を検討する必要がある。	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化している		内容

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務	→	根拠法令	みよし市文化協会補助金交付要綱
				この事務を行う根拠又は理由	市民の文化・芸術に対する意識高揚を図るため。
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	
		結びつかない	→		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→ 拡大	内容	
		できない	→ 縮小		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→ 追加	内容	
		できない	→ 絞込み		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	→	理由又は内容	
	多少影響がある				
	影響はない				
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	各部会の自主性を尊重したいため。	
	できない				
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？					
(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある	→ 庁内事業	類似事業名	ある → 内容	
	ない	→ 庁外事業			類似事業との再編の可能性
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容	文化協会会員にも積極的に事業に携わってもらおう。	
	ない				
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容		
	ない				
(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→ 現状で適正	内容		
	ない	→ 検討が必要			
	受益者がいない				

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど						

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 580104	芸術文化国際大会等出場者激励事業				主管課名	教育行政課												
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	深谷 正浩												
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち																	
		基本事業	文化団体の育成																	
(1)事業の概要																				
芸術文化の分野において、国際大会等に出場しようとする者に対し、激励金を交付し支援を行う。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)														
						<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>激励金の交付件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>					名 称	単 位	激励金の交付件数	件					その指標	
名 称	単 位																			
激励金の交付件数	件																			
その指標																				
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		対象となる出場者より申請書の提出 激励金の交付 出場者から実績報告書の提出																		
28年度計画		前年と同様 変更あり			変更内容															
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)														
国際大会に出場する者 国民文化祭、全国高等学校総合文化祭に出場する者 全国規模以上の大会等(以外)に出場する者 (対象となる大会かつ、市民又は市民が所属する団体に限る)						その指標														
						<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>国際大会出場者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>国民文化祭、全国高等学校総合文化祭出場者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>全国規模以上の大会等(以外)出場者数</td> <td>人</td> </tr> </table>					名 称	単 位	国際大会出場者数	人	国民文化祭、全国高等学校総合文化祭出場者数	人	全国規模以上の大会等(以外)出場者数	人		
						名 称	単 位													
						国際大会出場者数	人													
国民文化祭、全国高等学校総合文化祭出場者数	人																			
全国規模以上の大会等(以外)出場者数	人																			
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)														
市民の芸術文化の振興が図られ、市民が大会等において好成績をおさめる。						その指標														
						<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>全国大会入賞者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>					名 称	単 位	全国大会入賞者数	人						
名 称	単 位																			
全国大会入賞者数	人																			
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)														
文化芸術の振興について市民の満足度があがる。						その指標														
						<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>文化芸術の振興について市民の満足度向上</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>					名 称	単 位	文化芸術の振興について市民の満足度向上	%						
名 称	単 位																			
文化芸術の振興について市民の満足度向上	%																			
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																				
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値												
(5)の活動指標		件	1	3	20	20	20	20												
(6)の対象指標		人			1	1	1	1												
		人			10	10	10	10												
		人			10	10	10	10												
(7)の成果指標		人	1	0	5	5	5	5												
(8)の結果の成果指標		%	55.5	55.2	55.6	55.7	55.8	55.9												
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	08								
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値												
事業費(決算又は予算額)		単位	5	15	300	100	100	100												
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0												
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0												
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0												
	その他	千円	0	0	0	0	0	0												
	一般財源	千円	5	15	300	100	100	100												
人件費B		千円	35	373	373	373	373	373												
正職員従事時間×人数		時間×人	5×2	100×1	100×1	100×1	100×1	100×1												
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0												
その他費用C		千円	0	22	22	22	22	22												
トータルコストA+B+C		千円	40	410	695	495	495	495												
単位あたりコスト		千円/人			695	495	495	495												
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人			70	50	50	50												
		千円/人			70	50	50	50												

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	580104	芸術文化国際大会等出場者激励事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成26年4月			から
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			対象が芸術文化の分野であるため、スポーツ部門と比較すると国際大会が少ない。
本市の名声を高めるとともに芸術文化の振興及び青少年の健全育成に寄与するため。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化している		内容

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
			自治事務	→	根拠法令	なし
					この事務を行う根拠又は理由	本市の名声を高めるとともに芸術文化の振興及び青少年の健全育成に寄与する。
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	
			結びつかない	→		
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	
			できない	→		
			拡大	→		
			縮小	→		
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容	
	できない	→				
	追加	→				
	拡充	→				
	絞込み	→				
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容		
		多少影響がある	→			
		影響はない	→			
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	市民への周知		
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できない	→				
効率性	(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業名	国体、全国大会出場激励事業	
		ない	→	類似事業との再編の可能性	ある → 内容	
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容			
	ない	→				
公平性	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容		
		ない	→			
(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容			
	ない	→				
	現状で適正	→				
	検討が必要	→				
	受益者がいない	→				

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど						

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 580202	文化事業委託事業				主管課名	生涯学習課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	山崎 正勝				
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち									
		基本事業	文化事業の展開									
	(1)事業の概要											
	市の文化展(春)、文化祭(秋)、公募美術展をみよし市文化協会に委託し、サンアートにて実施している。 <平成27年度> 春の文化展 5月7日(木)～5月10日(日) 公募美術展 9月1日(火)～9月6日(日) みよし市文化祭 10月30日(金)～11月3日(火・祝)						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名 称		単位			
							開催日数		日			
							その指標					
	(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		春の文化展では展示発表に446点を出展、芸能発表には11団体が参加 秋の文化祭では展示発表に383点を出展、芸能発表には10団体が参加 公募美術展では164点の応募があった。									
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
文化協会会員 公募美術展公募者						名 称		単位				
						文化協会会員数		人				
						公募美術展応募者数		人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
文化・芸術の技能を高めてもらう						名 称		単位				
						出品点数		点				
						出演人数		人				
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
文化芸術活動に参加してもらう						名 称		単位				
						自主的な活動件数		件				
						文化センターサンアートの年間利用者数		人				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の活動指標		日	14	14	14	14	14	14				
(6)の対象指標		人	859	818	821	900	900	900				
		人	171	139	150	180	180	180				
(7)の成果指標		点	974	1,429	1,450	1,500	1,500	1,500				
		人	244	236	270	270	270	270				
(8)の結果の成果指標		件	67	84	90	90	90	90				
		人	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	03
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	4,687	4,683	6,200	4,700	4,700	4,700				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	1,000	0	0	0				
	一般財源	千円	4,687	4,683	5,200	4,700	4,700	4,700				
人件費B		千円	1,082	1,174	1,174	1,174	1,174	1,174				
正職員従事時間×人数		時間×人	105×3	105×3	105×3	105×3	105×3	105×3				
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0				
その他費用C		千円	403	403	403	403	403	403				
トータルコストA+B+C		千円	6,172	6,260	7,777	6,277	6,277	6,277				
単位あたりコスト		千円/人	7	8	9	7	7	7				
(トータルコスト/ (6)の対象指標)		千円/人	36	45	52	35	35	35				

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580202文化事業委託事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和三十九年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？  特に課題・意見はない
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？  市民の文化・芸術への意識高揚と学習者の発表機会の創出のため。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	なし 市民に文化・芸術意識の高揚と学習者の発表機会の創出のため。	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由 又は 内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由 又は 内容	PR活動の充実により参加者の増加
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	生涯学習発表会 ある ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容	文化協会会員に積極的に事業に参加してもらう
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容	文化祭、公募美術展において、出品数1点、出演者1人ごとに運営負担金を求める。

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現 状 ( D O )	事務事業名	No. 580204	アートプラザ開催事業				主管課名	教育行政課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	深谷 正浩				
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち									
		基本事業	文化事業の展開									
	(1)事業の概要											
	サンアートにおいて、市民が文化・芸術活動に触れてもらえるよう アートプラザ事業としてみよし音楽祭を展開している。 平成10年6月に創設されたみよし少年少女合唱団は、平成26年度か ら保護者会による運営に移行し、育成事業から補助事業へと移行し た。 鑑賞型文化振興事業として、NHK公開録画を開催					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						コンサート等開催数		回				
						その指標						
	(27年度に実施 した具体的なこ の事業のやり 方、手順等)											
		合唱交流会		11月29日に開催								
		少年少女定期演奏会		3月6日に開催								
		NHK Eテレ「能向王国がゆく」公開録画		12月19日に開催								
		NHK BSプレミアム「新・BS日本のうた」公開録画		3月17日に開催								
28年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
市民					名 称		単 位					
					人口		人					
					その指標							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
発表の場を提供し、音楽活動を広める 身近に生演奏を鑑賞することで、音楽への鑑賞を高める。					名 称		単 位					
					出演したアーティスト数		人					
					コンサート入場者数		人					
					その指標							
(4)結果(上位基本事業の意図)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
文化芸術活動に参加してもらう					名 称		単 位					
					自主的な活動件数		件					
					文化センターサンアートの年間利用者数		人					
					その指標							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の 活動指標		回	1	1	1	1	1	1	1			
(6)の 対象指標		人	59,885	60,365	61,400	62,000	62,600	63,200				
(7)の 成果指標		人	360	344	310	310	310	310				
		人	1,400	2,232	1,000	1,000	1,000	1,000				
(8)の結果の 成果指標		件	58	70	70	70	70	70				
		人	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	08
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	1,294	3,085	1,388	1,388	1,388	1,388				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	1,294	3,085	1,388	1,388	1,388	1,388	1,388			
人件費B		千円	1,546	3,274	3,274	3,274	3,274	3,274				
正職員従事時間×人数		時間×人	150×3	293×3	293×3	293×3	293×3	293×3				
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0				
その他費用C		千円	192	286	286	286	286	286				
トータルコストA+B+C		千円	3,032	6,645	4,948	4,948	4,948	4,948				
単位あたりコスト		千円/人	0	0	0	0	0	0				
(トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580204 アートプラザ開催事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成10年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？  特に課題・意見はない
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？  平成9年度にアマチュア演奏家から発表の場がほしいとの意見があり、開催方法を検討し、翌年度から実施した。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 なし この事務を行う根拠又は理由	アマチュア・セミプロアーティストへの発表の場を提供し、文化芸術に親しみ、芸術活動を身近に感じる機会を提供するため。		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由又は内容	各催し物の開催時期を他のイベントと連携して実施する。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持



平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現 状 ( D O )	事務事業名 No. 580205 サンアート維持管理事業		主管課名 教育行政課										
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		課長名 深谷 正浩								
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち										
		基本事業	文化事業の展開										
	(1)事業の概要												
	文化センターサンアートの維持管理を指定管理者制度を活用し、民間企業に委託している。 老朽化している施設の修理を計画的に実施			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)									
				<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>勤労文化会館の会館日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>ふるさと会館の会館日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	勤労文化会館の会館日数	日	ふるさと会館の会館日数	日	その指標	
	名 称	単 位											
	勤労文化会館の会館日数	日											
	ふるさと会館の会館日数	日											
その指標													
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)			指定管理者制度の導入により、会館管理全般(設備管理、清掃管理、夜間危機管理、樹木管理、舞台管理、受付業務等)と保守点検業務(舞台機構、舞台照明、エレベーター、自動扉等)を指定管理者への委託で実施している。										
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容											
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)										
みよし市勤労文化会館 みよし市ふるさと会館			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>勤労文化会館の面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>ふるさと会館の面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	勤労文化会館の面積	m <sup>2</sup>	ふるさと会館の面積	m <sup>2</sup>	その指標		
名 称	単 位												
勤労文化会館の面積	m <sup>2</sup>												
ふるさと会館の面積	m <sup>2</sup>												
その指標													
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)										
勤労文化会館が市民にとって、利用しやすく快適で安全な施設である。 ふるさと会館が日本文化紹介施設として、有効活用される。			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>勤労文化会館の利用者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ふるさと会館の利用者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	勤労文化会館の利用者数	人	ふるさと会館の利用者数	人	その指標		
名 称	単 位												
勤労文化会館の利用者数	人												
ふるさと会館の利用者数	人												
その指標													
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)										
文化芸術活動に参加してもらう			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>自主的な活動件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>文化センターサンアートの年間利用者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	自主的な活動件数	件	文化センターサンアートの年間利用者数	人	その指標		
名 称	単 位												
自主的な活動件数	件												
文化センターサンアートの年間利用者数	人												
その指標													
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標													
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値					
(5)の活動指標		日	315	315	315	315	315	315					
		日	315	315	315	315	315	315					
(6)の対象指標		m <sup>2</sup>	12,051.69	12,051.69	12,051.69	12,051.69	12,051.69						
		m <sup>2</sup>	402	402	402	402	402						
(7)の成果指標		人	223,500	244,082	243,000	244,000	245,500	247,000					
		人	6,600	8,632	8,600	8,600	8,700	8,800					
(8)の結果の成果指標		件	70	84	84	84	84	84					
		人	230,000	252,714	251,600	252,600	254,200	255,800					
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	08		
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値					
事業費(決算又は予算額)		単位	300,625	385,434	452,219	544,772	530,391	435,298					
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0					
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0					
	地方債	千円	0	100,000	0	0	0	0					
	その他	千円	159,603	138,340	317,086	208,086	158,086	108,147					
	一般財源	千円	141,022	147,094	135,133	336,686	372,305	327,151					
人件費 B		千円	3,452	2,861	2,861	2,861	2,861	2,861					
正職員従事時間×人数		時間×人	335 × 3	256 × 3	256 × 3	256 × 3	256 × 3	256 × 3					
正職員以外の人件費		千円											
その他費用 C		千円	868	632	632	632	632	632					
トータルコスト A+B+C		千円	304,945	388,927	455,712	548,265	533,884	438,791					
単位あたりコスト		千円/ m <sup>2</sup>	25	32	38	45	44						
(トータルコスト / (6)の対象指標)		千円/ m <sup>2</sup>	759	967	1,134	1,364	1,328						
		千円/											

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	580205	サンアート維持管理事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成5年7月 から			大規模改修と並行した円滑な会館運営が必要
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
サンアート開館と同時に実施した				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化している	変化した内容	平成19年4月から指定管理者導入

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 →	根拠法令	
			自治事務 →	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する みよし市勤労文化会館設置条例・みよし市ふるさと会館設置条例
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない →	理由	
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 できない → 縮小	内容	
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 できない → 拡充 絞込み	内容	
	有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない →	理由 又は 内容	
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない →	理由 又は 内容	指定管理者に対する適正な監理監督
		(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 ない → 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
	効率性	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない →	内容	
		(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない →	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 ない → 検討が必要 受益者がいない	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど						

平成28年度(27年度実施分)事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成28年10月31日

1 事務事業の現状(DOC)	事務事業名	No. 580302	文化財保護委員会運営事業				主管課名	教育行政課										
	この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	神谷 浩一										
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち															
		基本事業	文化財の保存と活用															
(1)事業の概要																		
文化財の保存、活用等に関し教育委員会の諮問に答え、または教育委員会に意見を具申し、及びこのために必要な調査研究を行なう。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)												
						<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>文化財保護委員会の開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>文化財保護委員会研修会の実施回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>					名称	単位	文化財保護委員会の開催回数	回	文化財保護委員会研修会の実施回数	回	その指標	
名称	単位																	
文化財保護委員会の開催回数	回																	
文化財保護委員会研修会の実施回数	回																	
その指標																		
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		文化財保護委員会の開催(2回) 文化財保護委員会研修会の実施(3回) 文化財の保護に関する審議(1件:文化財資料の購入)																
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容																
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)												
文化財保護に関する諮問及び重要事項						<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>文化財保護に関する諮問及び重要事項の審議案件</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>					名称	単位	文化財保護に関する諮問及び重要事項の審議案件	件	その指標			
名称	単位																	
文化財保護に関する諮問及び重要事項の審議案件	件																	
その指標																		
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)												
文化財保護に関する諮問及び重要事項を審議し、教育委員会に意見を提出してもらう。						<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>文化財保護に関する答申及び建議の件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>					名称	単位	文化財保護に関する答申及び建議の件数	件	その指標			
名称	単位																	
文化財保護に関する答申及び建議の件数	件																	
その指標																		
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)												
伝統文化を保護保存し次代に継承する						<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>文化・芸術の振興が重要であると答えた人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>文化・芸術の振興に満足した人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>					名称	単位	文化・芸術の振興が重要であると答えた人の割合	%	文化・芸術の振興に満足した人の割合	%	その指標	
名称	単位																	
文化・芸術の振興が重要であると答えた人の割合	%																	
文化・芸術の振興に満足した人の割合	%																	
その指標																		
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																		
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値										
(5)の活動指標		回	1	2	3	2	2	2										
		回	3	3	2	3	3	3										
(6)の対象指標		件	0	1	1	2	1	1										
		件	0	1	1	2	1	1										
(7)の成果指標		%	73	74	74	74	74	74										
		%	55	54	54	54	54	54										
(10)予算費目																		
会計		01 一般会計				款	10	項	05	目	06							
(11)コスト																		
事業費(決算又は予算額)		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値										
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0										
		県支出金	千円	0	0	20	20	20										
		地方債	千円	0	0	0	0	0										
		その他	千円	0	0	0	0	0										
		一般財源	千円	195	191	254	254	254	254									
		人件費B	千円	598	999	999	999	999	999									
正職員従事時間×人数		時間×人	58×3	67×4	67×4	67×4	67×4	67×4										
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0										
その他費用C		千円	5	4	4	4	4	4										
トータルコストA+B+C		千円	798	1,194	1,277	1,277	1,277	1,277										
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/件		1,194	1,277	639	1,277	1,277										
		千円/																
		千円/																

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580302 文化財保護委員会運営事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和47年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？  文化財を次代に継承するために、文化財保護に関する他市町村の取り組み状況の調査研修や、他機関主催の研修会等への参加を通じた文化財保護に関する情報収集が必要である。また、新たな市指定文化財の検討を行う。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？  昭和46年3月制定の文化財保護条例に基づき、文化財の保存と活用を審議する附属機関として教育委員会に設置された。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化し文化財を取り巻く環境が著しく変化している 変化している 変化し文化財を取り巻く環境が著しく変化している内容。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	文化財保護法(第190条)、みよし市文化財保護条例(第4条)		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由 又は 内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由 又は 内容	委員会は、文化財保護に関する諮問又は、重要事項が発生した場合に開催するため、予め開催回数を固定することは困難である。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要 受益者がいない	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現 状 (DOC)	事務事業名	No. 580303	有形文化財保存活動支援事業				主管課名	教育行政課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	神谷 浩一				
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち									
		基本事業	文化財の保存と活用									
(1)事業の概要												
市指定有形文化財の所有者及び管理者（以下「文化財管理者」とい う）と協働してこれを良好な状態で保存するため、文化財管理者の 活動を支援する。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						事業実施団体の数		団体				
						その指標						
(27年度に実施 した具体的なこ の事業のやり 方、手順等)		文化財管理者に当該文化財の保存に関わる活動経費の一部を補助する旨を通知する。 補助金交付申請書を受理し、内容審査したのちに補助金交付決定を通知する。 事業完了後、事業実績報告書を受理し、内容審査したのちに補助金を交付する。										
28年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
市指定有形文化財 山車2台(三好上・三好下地区)酒井家金比羅宮、石川家住宅 市指定有形文化財の所有者又は管理者						名 称		単 位				
						市指定有形文化財の件数		件				
						文化財管理者の数		団体				
						その指標						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
市指定有形文化財が良好な状態で保存される。 市指定有形文化財の保存のためには文化財管理者の協力が不可欠 であり、その保存活動を継続してもらう。						名 称		単 位				
						保存されている市指定有形文化財の件数		件				
						保存活動を継続する文化財管理者の数		団体				
						その指標						
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
伝統文化を保護保存し次代に継承する。						名 称		単 位				
						伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合		%				
						伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合		%				
						その指標						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単 位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の 活動指標		団体	2	2	2	2	2	2				
(6)の 対象指標		件	4	4	5	5	5	5				
		団体	4	4	5	5	5	5				
(7)の 成果指標		件	4	4	5	5	5	5				
		団体	4	4	5	5	5	5				
(8)の結果の 成果指標		%	73	74	74	74	74	74				
		%	55	54	54	54	54	54				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	06
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単 位	900	900	930	930	930	930				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	900	900	930	930	930	930				
人件費B		千円	1,381	1,304	1,304	1,304	1,304	1,304				
正職員従事時間×人数		時間×人	200×2	175×2	175×2	175×2	175×2	175×2				
正職員以外の人件費		千円	7	0	0	0	0	0				
その他費用C		千円										
トータルコストA+B+C		千円	2,281	2,204	2,234	2,234	2,234	2,234				
単位あたりコスト		千円/ 件	570	551	447	447	447	447				
(トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/ 団体	570	551	447	447	447	447				
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580303 有形文化財保存活動支援事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和56年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ 当該文化財の大規模な修繕に関わる経費負担の軽減措置を求める要請が、文化財管理者から出ている。 年々、当該文化財の維持保存に関わる文化財管理者の負担が増加する傾向にある。山車の曳き回しや老朽化に伴う大規模な改修費用に対する支援が必要になる。 当該文化財の所有者及び管理者において、これを良好な状態で維持保存する取り組みを維持することが、当該文化財の保存につながるものであり、支援の停止は当該文化財の滅失につながる危険性を高めるため、現状の水準を維持する必要がある。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 昭和56年10月に市内の山車3台を市指定有形民俗文化財に指定し、その維持保存のための事業として開始した。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している → 変化し文化財管理者の組織及び意識の変化に伴い、当該文化財の維持保存が難しくなっている。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	文化財保護法(第3条)みよし市文化財保護条例(第24条)他 市指定有形文化財の所有者及び管理者の協力のもとに、これを維持保存し後世に残すための支援は、市の事務事業である。
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない →	理由	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある → 影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない	理由又は内容	良好な状態で維持保存する取組を継続されることが、当該文化財の保存と活用につながるものであり、現状の水準を維持する。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない	内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持

平成28年度(27年度実施分)事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成28年10月31日

1 事務事業の現状(DOC)	事務事業名	No. 580304	郷土芸能保存活動支援事業				主管課名	教育行政課				
	この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	神谷 浩一				
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち									
		基本事業	文化財の保存と活用									
(1)事業の概要												
郷土芸能を保存する団体と協働して、郷土芸能を後世に伝承するため、当該団体の活動を支援する。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名称		単位				
						事業実施団体の数		団体				
						その指標						
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		郷土芸能保存団体が行う郷土芸能の保存活動経費の一部を補助する旨を通知する。補助金交付申請書を受領し、内容審査したのちに補助金交付決定を通知する。事業完了後、実績報告書を受領し、内容審査したのちに補助金を交付する。										
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
郷土芸能(囃子、棒の手) 郷土芸能保存団体						名称		単位				
						郷土芸能の件数		件				
						郷土保存団体の数		団体				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
郷土芸能が着実に保存され後世に伝承される。 郷土芸能の保存(伝承)のためには保存団体の協力が不可欠であり、その保存活動を継続してもらう。						名称		単位				
						保存(伝承)されている郷土芸能の件数		件				
						保存活動を継続する郷土芸能保存団体の数		団体				
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
伝統文化を保護保存し次代に継承する。						名称		単位				
						文化・芸術の振興が重要であると答えた人の割合		%				
						文化・芸術の振興に満足した人の割合		%				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の活動指標		団体	8	8	8	8	8	8				
(6)の対象指標		件	2	2	2	2	2	2				
		団体	8	8	8	8	8	8				
(7)の成果指標		件	2	2	2	2	2	2				
		団体	8	8	8	8	8	8				
(8)の結果の成果指標		%	73	74	74	74	74	74				
		%	55	54	54	54	54	54				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	06
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	570	610	640	640	640	640				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	570	610	640	640	640	640				
人件費B		千円	1,374	1,676	1,676	1,676	1,676	1,676				
正職員従事時間×人数		時間×人	200×2	225×2	225×2	225×2	225×2	225×2				
正職員以外の人件費		千円										
その他費用C		千円	85	82	82	82	82	82				
トータルコストA+B+C		千円	2,029	2,368	2,398	2,398	2,398	2,398				
単位あたりコスト (トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/件	1,015	1,184	1,199	1,199	1,199	1,199				
		千円/団体	254	296	300	300	300	300				
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580304 郷土芸能保存活動支援事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和56年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 昭和56年10月に市内の山車を市指定有形文化財に指定し、併せて祭囃子などの郷土芸能の伝承活動を活性化するために開始した。	保存団体の指導者等の熱意に支えられたこの取り組みが継続されることが、文化財の保存と活用につながるものであり、現状の水準を維持する必要がある。 道具類の修繕又は更新などに要する経費が増加しており、保存伝承団体から支援策の拡大が求められている。
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化し 保存団体の構成員の多様化により、指導者等 変化している 内容の後継者の育成に関心が高まっている。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	文化財保護法(第3条)みよし市文化財保護条例(第24条)他 郷土芸能の保存団体の協力のもとに保存し後世に伝え残すための支援は、市の事務事業である。		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由 又は 内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由 又は 内容	保存団体の指導者等の熱意に支えられたこの取組が継続されることが、文化財の保存と活用につながるものである。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない 受益者がいない	現状で適正 検討が必要	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持



平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現 状 ( D O )	事務事業名 No. 580305 郷土芸能伝承活動発表会開催事業		主管課名 教育行政課												
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		課長名 神谷 浩一										
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち												
		基本事業	文化財の保存と活用												
	(1)事業の概要														
	市民に郷土郷土芸能に対する関心を深めてもらい、郷土芸能の保存団体の活動の励みとするため、郷土伝承活動発表会を開催する。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)											
				<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>発表会開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	発表会開催回数	回					その指標	
	名 称	単 位													
	発表会開催回数	回													
その指標															
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		開催日：平成27年9月13日(日) 参加団体説明会の開催(2回) 参加団体との連絡調整 11団体 囃子(7)、棒の手(1)、巫女舞(2)、太鼓(1)													
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容													
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)												
市民 郷土芸能関連団体			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>郷土芸能関連団体の数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名 称	単 位	人口	人	郷土芸能関連団体の数	団体					
名 称	単 位														
人口	人														
郷土芸能関連団体の数	団体														
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)												
市民に郷土芸能に対する関心を深めてもらう。 郷土芸能関連団体に本発表会に参加してもらう。			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>一般参観者の数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>発表会に参加した郷土芸能関連団体の数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名 称	単 位	一般参観者の数	人	発表会に参加した郷土芸能関連団体の数	団体					
名 称	単 位														
一般参観者の数	人														
発表会に参加した郷土芸能関連団体の数	団体														
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)												
伝統文化を保護保存し次代に継承する。			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>文化・芸術の振興が重要であると答えた人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>文化・芸術の振興に満足したと答えた人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名 称	単 位	文化・芸術の振興が重要であると答えた人の割合	%	文化・芸術の振興に満足したと答えた人の割合	%					
名 称	単 位														
文化・芸術の振興が重要であると答えた人の割合	%														
文化・芸術の振興に満足したと答えた人の割合	%														
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標															
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値							
(5)の活動指標		回	1	1	1	1	1	1							
(6)の対象指標		人	59,474	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401							
		団体	13	13	13	13	13	13							
(7)の成果指標		人	650	600	620	640	660	680							
		団体	12	13	13	13	13	13							
(8)の結果の成果指標		%	73	74	74	74	74	74							
		%	55	54	54	54	54	54							
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	06				
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値							
事業費(決算又は予算額)		単位	361	430	566	544	544	544							
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0							
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0							
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0							
	その他	千円	0	0	1	0	0	0							
	一般財源	千円	361	430	565	544	544	544							
人件費B		千円	1,546	2,510	2,510	2,510	2,510	2,510							
正職員従事時間×人数		時間×人	225 × 2	337 × 2	337 × 2	337 × 2	337 × 2	337 × 2							
正職員以外の人件費		千円													
その他費用C		千円	32	31	31	31	31	31							
トータルコストA+B+C		千円	1,939	2,971	3,107	3,085	3,085	3,085							
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)	千円/ 人	0	0	0	0	0	0								
	千円/ 団体	149	229	239	237	237	237								
	千円/														

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580305 郷土芸能伝承活動発表会開催事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和57年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？  昭和57年以来継続し開催しているこの発表会は、市民が郷土の伝統文化の一つである郷土芸能を知り、関心を深める機会となっており、現状の水準を維持する必要がある。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？  昭和57年4月、歴史民俗資料館の開館を記念して開始した。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化し 勤労文化会館の開館を契機に中央公民館から 変化している 内容 会場を移した。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	文化財保護法(第3条)みよし市文化財保護条例(第24条)他 郷土芸能の保存団体の活動の継続と市民の関心の高まりを期待するものであり、市が積極的に関与する。		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由 又は 内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由 又は 内容	市民が郷土の伝統文化の一つである郷土芸能を知り関心を深める機会になっており、現状の水準を維持する。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現 状 ( D O )	事務事業名	No. 580306	文化財環境保全事業				主管課名	教育行政課			
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	神谷 浩一			
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち								
		基本事業	文化財の保存と活用								
	(1)事業の概要										
	市指定有形文化財及び資料館収蔵資料を虫害から保護するため、山車保存庫（三好上区山車・三好下区山車）、酒井家金比羅宮、収蔵庫、資料館本館及び木造棟のくん蒸処理（消毒処理）をそれぞれ3年に1回実施する。3年に1回の実施が適切かどうか文化財害虫調査業務を実施しその後検討する。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
						名 称		単 位			
						くん蒸処理箇所/年		箇所			
						くん蒸業務委託関連事務		件			
						箇所あたりのくん蒸処理回数		回			
					その指標						
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		くん蒸処理対象：酒井家金比羅宮及び収蔵庫 実施準備：くん蒸処理業務の委託契約 実施中：現場監視 実施後：くん蒸処理成果の確認、完了検査									
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	くん蒸処理対象：三好上・三好下山車及び保存庫								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
市指定有形文化財 民俗文化財：三好上区山車、三好下区山車 建造物：酒井家金比羅宮 資料館が収蔵する資料（以下「館蔵資料」という。）					名 称		単 位				
					くん蒸処理対象の市指定有形文化財の数		件				
					くん蒸処理対象の資料館収蔵資料の数		点				
					その指標						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
市指定有形文化財を害虫等の被害から保護し、良好な状態で保存する。 資料館の収蔵資料を害虫等の被害から保護し、良好な状態で保存する。					名 称		単 位				
					虫害等の発生を防止できた市指定有形文化財の数		件				
					虫害等の発生を防止できた館蔵資料の点数		点				
					その指標						
(4)結果(上位基本事業の意図)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
伝統文化を保護保存し次代に継承する。					名 称		単 位				
					文化・芸術の振興が重要であると答えた人の割合		%				
					文化・芸術の振興に満足した人の割合		%				
					その指標						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
(5)の活動指標		箇所	2	2	2	2	2	2			
		件	20	20	20	20	20	20			
		回	1	1	1	1	1	1			
(6)の対象指標		件	3	3	3	3	3	3			
		点	28,816	29,916	29,116	29,216	29,316	29,416			
(7)の成果指標		件	3	3	3	3	3	3			
		点	28,816	29,916	29,116	29,216	29,316	29,416			
(8)の結果の成果指標		%	73	74	74	74	74	74			
		%	55	54	54	54	54	54			
(10)予算費目											
会計		01 一般会計				款	10	項	05	目	06
(11)コスト											
年度		26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	3,926	2,500	1,530	3,950	2,542	1,530			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	3,926	2,500	1,530	3,950	2,542	1,530			
人件費B		千円	516	559	559	559	559	559			
正職員従事時間×人数		時間×人	75×2	75×2	75×2	75×2	75×2	75×2			
正職員以外の人件費		千円									
その他費用C		千円	46	44	44	44	44	44			
トータルコストA+B+C		千円	4,488	3,103	2,133	4,553	3,145	2,133			
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/ 件	1,496	1,034	711	1,518	1,048	711			
		千円/ 点	0	0	0	0	0	0			
		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580306 文化財環境保全事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和56年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？  文化財害虫調査の調査結果を踏まえて、くん蒸処理の実施ローテーションを見直す必要がある。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？  昭和56年10月、市内の山車3台を市指定有形民俗文化財として指定したことから、その維持保存のために開始した。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している 変化している → 平成16年度からは、使用薬剤をヴァイケーに変更した。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	文化財保護法(第3条)、みよし市文化財保護条例(第18条)他 市民共有の歴史的な財産である市指定文化財及び資料館収蔵資料の保存措置として、市が積極的に関与する。
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない →	理由	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある → 影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない	理由又は内容	市指定文化財及び資料館収蔵資料が良好な状態で維持保存されており、事業の成果が認められることから、現状の水準を維持する。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない	内容	3年に1回実施する現行ローテーションを再検討する。
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない	内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	<b>事務事業名</b> No. 580307 史跡整備管理事業		主管課名 教育行政課										
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし										
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち										
		基本事業	文化財の保存と活用										
	<b>(1) 事業の概要</b>												
	市指定史跡等を整備保存し一般公開するため、年3回の草刈り、雑木伐採等を実施し、史跡の環境を維持保全する。			<b>(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)</b>									
				<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>史跡管理が必要な区域面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>史跡管理の実施回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	史跡管理が必要な区域面積	m <sup>2</sup>	史跡管理の実施回数	回	その指標	
	名 称	単 位											
	史跡管理が必要な区域面積	m <sup>2</sup>											
	史跡管理の実施回数	回											
その指標													
<b>(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)</b>		史跡用地の賃貸借及び使用貸借契約事務(福谷城跡: 3年更新、黒笹27号窯跡: 5年更新) 史跡管理の内容(2回/年、草刈り及び雑木処理)											
<b>28年度計画</b>	前年と同様 変更あり	変更内容											
<b>(2) 対象(この事業の対象、範囲となる人、物)</b>			<b>(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)</b>										
史跡、福谷城跡(発掘による学術調査により戦国時代の山城跡として証明された。) 史跡、黒笹27号窯跡(平安時代の猿投窯の状況を見ることができ市内で唯一の古窯遺跡)			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>史跡(福谷城跡)の面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>史跡(黒笹27号窯跡)の面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	史跡(福谷城跡)の面積	m <sup>2</sup>	史跡(黒笹27号窯跡)の面積	m <sup>2</sup>	その指標		
名 称	単 位												
史跡(福谷城跡)の面積	m <sup>2</sup>												
史跡(黒笹27号窯跡)の面積	m <sup>2</sup>												
その指標													
<b>(3) 意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)</b>			<b>(7) 成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)</b>										
一般公開するために、これを継続して維持保存する。 一般公開するために、これを継続して維持管理する。			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>史跡(福谷城跡)の公開面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>史跡(黒笹27号窯跡)の公開面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	史跡(福谷城跡)の公開面積	m <sup>2</sup>	史跡(黒笹27号窯跡)の公開面積	m <sup>2</sup>	その指標		
名 称	単 位												
史跡(福谷城跡)の公開面積	m <sup>2</sup>												
史跡(黒笹27号窯跡)の公開面積	m <sup>2</sup>												
その指標													
<b>(4) 結果(上位基本事業の意図)</b>			<b>(8) 結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)</b>										
伝統文化を保護保存し次代に継承する			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>文化・芸術の振興が重要であると答えた人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>文化・芸術の振興に満足した人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	文化・芸術の振興が重要であると答えた人の割合	%	文化・芸術の振興に満足した人の割合	%	その指標		
名 称	単 位												
文化・芸術の振興が重要であると答えた人の割合	%												
文化・芸術の振興に満足した人の割合	%												
その指標													
<b>(9) 事務事業の各種指標の実績と見込及び目標</b>													
<b>指標</b>	<b>年度</b>	<b>単位</b>	<b>26年度実績値</b>	<b>27年度実績値</b>	<b>28年度計画値</b>	<b>29年度目標値</b>	<b>30年度目標値</b>	<b>31年度目標値</b>					
(5)の活動指標		m <sup>2</sup>	2,939	2,939	2,939	2,939	2,939	2,939					
		回	3	3	3	3	3	3					
(6)の対象指標		m <sup>2</sup>	4,133	4,133	4,133	4,133	4,133	4,133					
		m <sup>2</sup>	253	253	253	253	253	253					
(7)の成果指標		m <sup>2</sup>	4,133	4,133	4,133	4,133	4,133	4,133					
		m <sup>2</sup>	253	253	253	253	253	253					
(8)の結果の成果指標		%	73	74	74	74	74	74					
		%	55	54	54	54	54	54					
<b>(10) 予算費目</b>		会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	06		
<b>(11) コスト</b>		年度	<b>26年度実績値</b>	<b>27年度実績値</b>	<b>28年度計画値</b>	<b>29年度目標値</b>	<b>30年度目標値</b>	<b>31年度目標値</b>					
事業費(決算又は予算額)		単位	1,305	1,445	1,551	1,649	1,649	1,649					
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0					
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0					
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0					
	その他	千円	0	0	0	0	0	0					
	一般財源	千円	1,305	1,445	1,551	1,649	1,649	1,649					
人件費 B		千円	516	1,028	1,028	1,028	1,028	1,028					
正職員従事時間×人数		時間×人	50×3	83×3	83×3	83×3	83×3	83×3					
正職員以外の人件費		千円		100	100	100	100	100					
その他費用 C		千円	9	9	9	9	9	9					
トータルコスト A+B+C		千円	1,830	2,482	2,588	2,686	2,686	2,686					
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)	千円/ m <sup>2</sup>	0	1	1	1	1	1						
	千円/ m <sup>2</sup>	7	10	10	11	11	11						
	千円/												

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580307 史跡整備管理事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成2年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？  中世期の山城跡であり、その概要が学術調査されており、貴重な史跡として残すため、当該用地を借地し維持管理を開始した。	みよし市の代表的な遺跡（史跡）を良好な状態で保全する取り組みを継続することが、文化財の保存と活用に結びつくものであり、現状の水準を維持する必要がある。
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している 変化している → 変化した内容	

3 評価（SEE）	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 →	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
		自治事務 →	根拠法令	文化財保護法（第3条）、みよし市文化財保護条例第（第18条）他		
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	結びつく 結びつかない →	理由	この事務を行う根拠又は理由	市指定文化財を始め重要な文化財の保存に関わる事業として、市負担で実施する。	
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	できる → 拡大 できない → 縮小	内容			
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充（意図の段階は正しいか）又は絞込み）はできませんか？	できる → 追加 できない → 拡充 絞込み	内容			
	有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない →	理由又は内容		
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない →	理由又は内容	史跡を良好な状態で保全する取り組みを継続することこそが、文化財の保存と活用に結びつくものであり、現状の水準を維持する。	
	効率性	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 ない → 庁外事業	類似事業名	類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
		(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？（仕様や工法の変更、住民の協力など）	ある ない →	内容		
		(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？（従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？）	ある ない →	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 ない → 検討が必要 受益者がいない	内容			

4 改革改善案（PLAN）	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業の現状（DO）	事務事業名	No. 580308	埋蔵文化財保存事業				主管課名	教育行政課			
	この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	神谷 浩一			
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち								
		基本事業	文化財の保存と活用								
	(1)事業の概要										
	埋蔵文化財は、土地に埋蔵された状態での現状保存が原則であるが、開発事業に伴い現状保存できない場合は、発掘調査等を実施し記録保存する。もって、埋蔵文化財の破壊と消滅を防止し、併せて埋蔵文化財の詳細を報告書として後世に残す。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
						名 称		単 位			
						埋蔵文化財の有無の確認等の申請件数		件			
						発掘調査した遺跡の数		件			
						出土遺物の数(保存用コンテナ数)		箱			
					その指標						
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		埋蔵文化財の有無確認及び開発計画の調整(有無の確認、結果通知、開発者との協議調整)、発掘等の届出等に関する事務(開発者との協議調整、発掘の届出等の受理、審査、県への送付)埋蔵文化財調査業務(委託契約、調査業務の監理、委託料の支払、完了確認)									
28年度計画	前年と同様 変更あり	▼		変更内容							
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
市内の埋蔵文化財(遺跡) 埋蔵文化財:土地に埋蔵されている文化財 開発事業に伴い保存が必要な埋蔵文化財(遺跡)					名 称		単 位				
					市内の遺跡の数		箇所				
					開発事業地内の埋蔵文化財(遺跡)		基				
					その指標						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
市内の遺跡を保存する。 開発事業地内の遺跡を現状保存できない場合は、発掘調査を実施し記録保存する。 現状保存:地中に埋蔵された状態で保存する。					名 称		単 位				
					現状保存又は記録保存している遺跡の数(類計)		基				
					発掘調査し記録保存した遺跡の数(累計)		基				
					その指標						
(4)結果(上位基本事業の意図)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
伝統文化を保護保存し次代に継承する。					名 称		単 位				
					文化・芸術の振興が重要であると答えた人の割合		%				
					文化・芸術の振興に満足した人の割合		%				
					その指標						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
(5)の活動指標		件	278	306	310	310	310	310			
		件	11	15	15	15	15	15			
		箱	10	10	10	10	10	10			
(6)の対象指標		箇所	185	185	185	185	185	185			
		基	0	1	1	1	1	1			
(7)の成果指標		基	185	191	191	191	191	191			
		基	92	92	92	92	92	92			
(8)の結果の成果指標		%	73	74	74	74	74	74			
		%	55	54	54	54	54	54			
(10)予算費目											
会計		01 一般会計				款	10	項	05	目	06
(11)コスト											
年度		26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	2,054	1,999	5,057	4,058	4,058	4,058			
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	1,640	1,640	1,640	1,640		
		県支出金	千円	0	0	44	44	44	44		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	999	0	0	0		
		一般財源	千円	2,054	1,999	2,374	2,374	2,374	2,374		
人件費B		千円	11,124	13,416	13,416	13,416	13,416	13,416			
正職員従事時間×人数		時間×人	706×4	631×4	631×4	631×4	631×4	631×4			
正職員以外の人件費		千円	1,426	4,016	4,016	4,016	4,016	4,016			
その他費用C		千円	231	222	222	222	222	222			
トータルコストA+B+C		千円	13,409	15,637	18,695	17,696	17,696	17,696			
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/箇所	72	85	101	96	96	96			
		千円/基		15,637	18,695	17,696	17,696	17,696			
		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580308 埋蔵文化財保存事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭和53年度 から	従来、国及び県等が行う開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査が主体であったが、今後は民間事業者の開発等に伴う発掘調査が見込まれる。 小規模な開発事業（個人が行う専用住宅等建設など）地内の埋蔵文化財の記録保存のための諸調査の取り組みは、埋蔵文化財の破壊と消滅を防止することに結びつくものである。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
昭和53年に中部電力変電所用地内の埋蔵文化財の発掘調査が行なわれ、以来、埋蔵文化財の保存に関わる事務事業として開始された。		
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	変化していない	変化し記録保存事業が増大している。
	変化している	内容

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する		
			自治事務	根拠法令	文化財保護法(第99条)		
				この事務を行う根拠又は理由	文化財保護法、愛知県教育委員会事務処理特例条例に基づき市の役割と事務の範囲が定められている。		
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく	理由			
			結びつかない				
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	内容			
			できない				
			拡大				
			縮小				
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	内容			
	できない						
	追加						
	拡充						
	絞込み						
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	理由又は内容				
		多少影響がある					
		影響はない					
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	理由又は内容	開発事業に伴い発掘調査し記録保存が必要な場合は、開発事業者と協議調整して進めており、現状の水準を維持する。				
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できない						
効率性	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある	類似事業名	ある	内容		
		ない				類似事業との再編の可能性	ない
		庁内事業					
		庁外事業					
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	内容					
	ない						
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	内容					
	ない						
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	内容				
		ない					
		現状で適正					
		検討が必要					
		受益者がいない					

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	減額	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど						



平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 580310	文化財資料購入事業				主管課名	教育行政課			
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	神谷 浩一			
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち								
		基本事業	文化財の保存と活用								
	(1)事業の概要										
	郷土の歴史と文化に関わりの深い文化財資料を購入し、その散逸と消滅を防止する。併せて、資料館の収蔵資料を拡充しながら、これを展示会等を通して一般に公開する。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)				
							名 称		単 位		
							評価、諮問等の審査手続き資料の作成件数		点		
							文化財資料の購入手続き点数		点		
							その指標				
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		文化財資料に関わる情報収集と調査検討を行なう。購入予定の文化財資料の調書を作成し、文化財保護委員会へ諮問する。同委員会にて審議され、その答申をうけて後に購入手続きを行なう。文化財資料台帳へ記録し、資料館館蔵資料として保管管理する。									
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)					
市にゆかりのある収蔵した文化財資料 市にゆかりのある購入した文化財資料						名 称		単 位			
						市にゆかりのある収蔵した文化財資料の数		点			
						文化財資料の購入点数		点			
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)					
文化財資料として購入し、その散逸と消滅を防止する。 展示・研究等に利用する。						名 称		単 位			
						文化財資料の購入点数(累計)		点			
						展示・研究等に利用した購入文化財資料の点数		点			
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)					
伝統文化を保護保存し次代に継承する						名 称		単 位			
						文化・芸術の振興が重要であると答えた人の割合		%			
						文化・芸術の振興に満足した人の割合		%			
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
(5)の活動指標		点	0	1	1	1	1	1	1		
		点	0	2	2	2	2	2	2		
(6)の対象指標		点	28,816	29,916	29,116	29,216	29,316	29,416			
		点	2	2	2	2	2	2			
(7)の成果指標		点	111	113	115	117	119	121			
		点	10	19	10	10	20	10			
(8)の結果の成果指標		%	73	74	74	74	74	74			
		%	55	54	54	54	54	54			
(10)予算費目	会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	07
(11)コスト	年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)	単位	0	297	317	317	317	317				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	0	297	317	317	317	317			
人件費B	千円	86	280	280	280	280	280				
	正職員従事時間×人数	時間×人	25 × 1	75 × 1	75 × 1	75 × 1	75 × 1				
	正職員以外の人件費	千円									
その他費用C	千円										
トータルコストA+B+C	千円	86	577	597	597	597	597				
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)	千円/ 点	0	0	0	0	0	0				
	千円/ 点	43	289	299	299	299	299				
	千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580310文化財資料購入事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和57年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 昭和57年の資料館の開館を契機に郷土出身の画家の伊豆原麻谷の作品を主体に文化財資料の収集を開始している。	文化財保護委員の意見としても特に価格の高い伊豆原麻谷の優品を収集すべきと指摘されている。みよし市に関わりのある文化財資料がいつ世に出てくるのか分からないため、予め備えておく必要がある。 また、みよし市にゆかりのある文化財の散逸を防止し、資料館が収蔵する文化財(資料)を拡充するため、継続的な購入が必要である。
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している → 変化し 世代交代、社会事情の変化に伴い文化財、伝統文化への関心が鈍化している。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	文化財保護法(第3条)、みよし市文化財保護条例(18条)他 博物館類似施設の資料館として、郷土にゆかりの深い文化財資料を収集しその散逸と消滅を防止する。
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない →	理由	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある → 影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない	理由又は内容	みよし市ゆかりのある文化財資料の購入にあたり、厳選して購入手続きを進めており、現状の水準を維持する。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない	内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 580311	資料館施設管理事業				主管課名	教育行政課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	神谷 浩一				
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち									
		基本事業	文化財の保存と活用									
	(1)事業の概要											
	来館者の利便向上と館蔵資料の保護保全、適正な施設管理を図るため、老朽化した施設の整備・機器を整備充実する。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名称	単位				
							設備機器保守点検及び管理に関わる業務件数	件				
							開館日数	日				
							その指標					
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		施設設備機器保守点検に関わる業務・・・4業務(委託契約、業務監理、委託料支払い、完了確認) 施設管理に関わる業務・・・5業務(委託契約、修繕工事、業務監理、委託料支払い、完了確認)										
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
資料館(本館・木造棟・収蔵庫・石川家住宅) 市民						その指標						
						名称		単位				
						資料館の面積	㎡					
						人口	人					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
展示会等を見学するために住民の皆さんに来館してもらう。						その指標						
						名称		単位				
						入館者数	人					
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
伝統文化を保護保存し次代に継承する。						その指標						
						名称		単位				
						文化・芸術の振興が重要であると答えた人の割合	%					
						文化・芸術の振興に満足した人の割合	%					
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の活動指標		件	8	8	8	8	8	8				
		日	303	308	303	303	303	303				
(6)の対象指標		㎡	1,824	1,824	1,824	1,824	1,824	1,824				
		人	59,474	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401				
(7)の成果指標		人	5,408	6,002	6,100	6,200	6,300	6,400				
(8)の結果の成果指標		%	73	74	74	74	74	74				
		%	55	54	54	54	54	54				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	07
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	5,993	9,857	7,435	8,178	8,059	8,059				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	5	6	2	2	2	2				
	一般財源	千円	5,988	9,851	7,433	8,176	8,057	8,057				
人件費B		千円	4,880	5,786	5,786	5,786	5,786	5,786				
正職員従事時間×人数		時間×人	217×6	300×5	300×5	300×5	300×5	300×5				
正職員以外の人件費		千円	408	200	200	200	200	200				
その他費用C		千円	274	264	264	264	264	264				
トータルコストA+B+C		千円	11,147	15,907	13,485	14,228	14,109	14,109				
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)	千円/㎡	6	9	7	8	8	8					
	千円/人	0	0	0	0	0	0					
	千円/											

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580311 資料館施設管理事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和57年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？  昭和57年4月、資料館の開館とともに開始した。	資料館は昭和57年11月に開館し33年が経過しており、施設設備の老朽化が進み、利用者の利便向上を図るため、適宜設備機器の補修と拡充を継続し、施設環境の維持保全を行っている。資料館の適正な維持管理を図る必要がある。 資料館利用者から資料館の位置が分かりにくいという苦情が多く寄せられているため、道路看板等の設置要望が出されている。 資料館の位置が分かりにくい、また、エレベータがないために足の不自由な利用者等は、2階で開催している企画・特別展を見ることができない。
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している →	変化し開館以来、館内外の大規模な改修をしていないため、老朽化が進行している。

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	文化財保護法、みよし市立歴史民俗資料館設置条例 博物館法に基づく公立博物館の類似施設として、その維持管理は設置者の市の負担で行う。
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない →	理由	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある → 影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない	理由又は内容	市役所周辺の社会教育施設を統合すれば、利用者の利便がよくなり、入館者の増になる。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない	内容	市役所周辺の社会教育施設を統合すれば、維持管理費の削減ができる。
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない	内容	市役所周辺の社会教育施設を統合すれば、維持管理業務をまとめることができ、人件費の削減につながる。
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 580312	資料館展示事業				主管課名	教育行政課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	神谷 浩一				
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち									
		基本事業	文化財の保存と活用									
(1)事業の概要												
広く市民に市の歴史や文化を深めてもらうため、常設展示に加えて開館以来、奇蹟、奇託及び購入により収集した資料館の収蔵資料及び他機関の所蔵資料等を活用して、特別展及び企画展を開催する。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						展示会の開催回数		回				
						展示会の開催日数		日				
						その指標						
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)												
4回開催 展示企画設営に関わる業務委託事務、展示資料調査と出展資料のとりまとめ、展示会(企画展、特別展)年 展「昆虫の世界へようこそ」(7/11~9/6) 秋季特別展「南画家 伊豆原麻谷とその時代」(10/10~12/6) 夏季企画 展「第34回ひな人形展」(1/23~3/21)												
28年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容		展示会の内容は、毎回変更している。						
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
市民						名 称		単 位				
						人口		人				
						その指標						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
市民に学習の機会を提供し、郷土の歴史、伝統、文化に関心を深めてもらう。						名 称		単 位				
						展示会の開催期間中の入館者数		人				
						展示会の展示資料数		点				
						その指標						
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
伝統文化を保護保存し次代に継承する。						名 称		単 位				
						文化・芸術の振興が重要であると答えた人の割合		%				
						文化・芸術の振興に満足した人の割合		%				
						その指標						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の活動指標		回	4	4	4	4	4	4				
		日	200	201	200	200	200	200				
(6)の対象指標		人	59,474	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401				
(7)の成果指標		人	5,075	5,244	5,300	5,400	5,500	5,600				
		点	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000				
(8)の結果の成果指標		%	73	74	74	74	74	74				
		%	55	54	54	54	54	54				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	07
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	3,934	5,312	54,445	5,747	5,597	5,610				
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
		県支出金	千円	0	0	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0	0	0				
		その他	千円	224	232	145	165	200	220			
		一般財源	千円	3,710	5,080	54,300	5,582	5,397	5,390			
人件費B		千円	7,645	9,506	9,506	9,506	9,506	9,506				
		時間×人	371 × 6	506 × 4	506 × 4	506 × 4	506 × 4	506 × 4				
正職員以外の人件費		千円	0	1,968	1,968	1,968	1,968	1,968				
その他費用C		千円	509	490	490	490	490	490				
トータルコストA+B+C		千円	12,088	15,308	64,441	15,743	15,593	15,606				
単位あたりコスト		千円/ 人	0	0	1	0	0	0				
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580312 資料館展示事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和57年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？  郷土を知り、郷土を愛する心を培う機会を提供するため、展示事業を継続して実施する必要がある。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？  昭和57年4月、資料館の開館を契機に開始しており、当時から収集された歴史、民俗等に関わる各種資料を展示紹介した。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化し開館以来、館内の内外装の改修をしていない 変化している 変化した内容ため、老朽化が進行している。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	文化財保護法、みよし市立民俗資料館設置条例 みよしの伝統文化を広く紹介し、理解を深めてもらう機会を提供することは、資料館の重要な業務である。		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由又は内容	ポスター・チラシ配布等広報活動を検討する。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 580313	資料館資料整理事業				主管課名	教育行政課															
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	神谷 浩一															
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち																				
		基本事業	文化財の保存と活用																				
	(1)事業の概要																						
	未整理の古文書群、猿投窯出土遺物群等の整理を行い、新たな郷土の歴史の調査研究、資料館展示事業等に活用する。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)																
	対象資料 高嶺文書など未整理の古文書群約5万点、猿投窯黒笹地区出土遺物群他(コンテナ約1,470箱)新規に寄贈された民俗資料						<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td colspan="2">古文書の整理件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">遺物コンテナ及び民俗資料の整理件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">マイクロフィルム撮影本数</td> <td>本</td> </tr> </table>					名 称		単 位	古文書の整理件数		件	遺物コンテナ及び民俗資料の整理件数		件	マイクロフィルム撮影本数		本
	名 称		単 位																				
	古文書の整理件数		件																				
	遺物コンテナ及び民俗資料の整理件数		件																				
マイクロフィルム撮影本数		本																					
整理内容 整理確認・目録化(データ入力)・マイクロフィルム撮影						その指標																	
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		古文書等整理、古文書マイクロフィルム撮影業務・埋蔵文化財整理業務委託・稲垣氏寄贈資料整理業務委託(4業務) 設計書作成、委託契約、業務の施行監理 出来高検査、委託料の支払い 業務成果品の保存管理																					
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容																					
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)																	
資料館で収蔵する古文書 資料館で収蔵する出土遺物及び民俗資料 資料の状態が著しく悪い古文書等の収蔵資料						<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td colspan="2">古文書の数</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td colspan="2">遺物コンテナ及び民俗資料の数</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td colspan="2">データ化が必要な収蔵資料の数</td> <td>点</td> </tr> </table>					名 称		単 位	古文書の数		点	遺物コンテナ及び民俗資料の数		点	データ化が必要な収蔵資料の数		点	
						名 称		単 位															
						古文書の数		点															
						遺物コンテナ及び民俗資料の数		点															
データ化が必要な収蔵資料の数		点																					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか) 古文書等を選別し目録及び台帳を整理する。 出土遺物及び民俗資料を選別し目録及び台帳を整理する。 データ化し保管管理する。						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)																	
						<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td colspan="2">整理し把握した市内所在古文書数(累計)</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td colspan="2">整理した遺物コンテナ、民俗資料の数(累計)</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td colspan="2">データ化した古文書等の数(累計)</td> <td>点</td> </tr> </table>					名 称		単 位	整理し把握した市内所在古文書数(累計)		点	整理した遺物コンテナ、民俗資料の数(累計)		点	データ化した古文書等の数(累計)		点	
						名 称		単 位															
						整理し把握した市内所在古文書数(累計)		点															
整理した遺物コンテナ、民俗資料の数(累計)		点																					
データ化した古文書等の数(累計)		点																					
(4)結果(上位基本事業の意図) 伝統文化を保護保存し次代に継承する。						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)																	
						<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td colspan="2">伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合</td> <td>%</td> </tr> </table>					名 称		単 位	伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合		%	伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合		%				
						名 称		単 位															
						伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合		%															
伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合		%																					
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																							
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値															
(5)の活動指標		件	200	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000															
		件	90	120	120	120	120	120															
		本	10	10	10	10	10	10															
(6)の対象指標		点	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000															
		点	6,484	6,584	6,684	6,784	6,884	6,984															
		点	47,693	47,193	46,693	46,193	45,693	45,193															
(7)の成果指標		点	32,720	33,230	33,330	33,430	33,530	33,630															
		点	6,297	6,417	6,517	6,617	6,717	6,817															
		点	38,807	38,607	38,707	38,807	38,907	39,007															
(8)の結果の成果指標		%	73	74	74	74	74	74															
		%	55	54	54	54	54	54															
(10)予算費目	会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	07												
(11)コスト	年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値																
事業費(決算又は予算額)	単位	5,627	6,208	10,428	7,503	9,753	7,673																
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0																
	県支出金	千円	0	0	0	0	0																
	地方債	千円	0	0	0	0	0																
	その他	千円	0	0	0	0	0																
	一般財源	千円	5,627	6,208	10,428	7,503	9,753	7,673															
人件費B	千円	3,509	3,623	3,623	3,623	3,623	3,623																
正職員従事時間×人数	時間×人	150×4	166×3	166×3	166×3	166×3	166×3																
正職員以外の人件費	千円	1,448	1,768	1,768	1,768	1,768	1,768																
その他費用C	千円	124	120	120	120	120	120																
トータルコストA+B+C	千円	9,260	9,951	14,171	11,246	13,496	11,416																
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)	千円/ 点	0	0	0	0	0	0																
	千円/ 点	1	2	2	2	2	2																
	千円/ 点	0	0	0	0	0	0																

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580313 資料館資料整理事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成14年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？	
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 寄託又は寄贈された古文書等の資料は、袋詰めにした状態で保管管理していたが、新編三好町誌編さんに活用するため開始した。	未整理状態にある古文書及び遺物は、小中学校の教材、新たな郷土の歴史に関わる調査、研究、資料館展示事業に活用することができない。他の博物館からの借用依頼や資料館調査に対応できないため、事業の継続が必要である。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している	変化した内容	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 文化財保護法、みよし市立民俗資料館設置条例 この事務を行う根拠又は理由 寄贈資料、寄託資料及び購入資料は、市民共有の歴史的な財産であり、これらの整理と活用は、資料館の役割である。			
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由又は内容	資料館の収蔵資料を整理保存する事業であり、専門業者への業務委託、職員の増員により可能な限り事業の遂行を早める。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	維持



平成28年度(27年度実施分)事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成28年10月31日

1 事務事業の現状(DO)	事務事業名	No. 580314	石川家住宅管理事業					主管課名	教育行政課			
	この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし					課長名	神谷 浩一			
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち									
		基本事業	文化財の保存と活用									
	(1)事業の概要											
	みよし市三好町三好上児童館から西に歩いて2分のところにある「石川家住宅」を平成26年度に一般公開し、川愛治郎氏の隠居住宅と石川家住宅は、明治24年3代目の石川恒夫(元東海銀行勤務、5万冊余の図書蔵主)が平成23年8月にみよし市で文化財として指定された。同年11月に土地建物、調度品や美術品も一括して市へ寄贈された。ノスタルジーを感じられる明治末期のみよし市に建てられた豪農の住宅である。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名称		単位			
							年間剪定回数		回			
							維持管理等委託件数		件			
							その指標					
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)												
庭の剪定・警備：見積 委託事務 完了検査 支払 調度品の調査 (1)学芸員に連絡 現場視察、資料の確認・・・、リスト作成 (2)委託部分：見積 委託事務 完了検査 支払												
28年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)												
市民、みよし市に訪問した人						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
						名称		単位				
						人口		人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)												
明治期の建造物や庭、調度品などを観覧して、何かを感じ取ってもらい、みよし市の明治・大正・昭和の時代に関心を持ってもらう。						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
						名称		単位				
						年間観覧者数		人				
						計画進捗率 or 評価時点での達成率		%				
(4)結果(上位基本事業の意図)												
伝統文化を保護保存し次代に継承する						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
						名称		単位				
						文化・芸術の振興が重要であると答えた人の割合		%				
						文化・芸術の振興に満足した人の割合		%				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の活動指標		回	2	1	1	1	1	1	1			
		件	4	5	4	4	4	4	4			
(6)の対象指標		人	59,474	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401				
(7)の成果指標		人	2,859	4,612	4,700	4,800	4,900	5,000				
		%	100	100	100	100	100	100				
(8)の結果の成果指標		%	11	74	74	74	74	74				
		%		54	54	54	54	54				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	07
(11)コスト												
		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	20,874	5,235	6,384	6,424	6,424	6,424	6,424			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	3,593	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	17,281	5,235	6,384	6,424	6,424	6,424	6,424			
人件費 B		千円	8,371	10,020	10,020	10,020	10,020	10,020	10,020			
正職員従事時間×人数		時間×人	600×3	700×3	700×3	700×3	700×3	700×3	700×3			
正職員以外の人件費		千円	2,189	2,199	2,199	2,199	2,199	2,199	2,199			
その他費用 C		千円	572	550	550	550	550	550	550			
トータルコスト A+B+C		千円	29,817	15,805	16,954	16,994	16,994	16,994	16,994			
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	1	0	0	0	0	0	0			
		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580314 石川家住宅管理事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成23年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？  建物の雰囲気を変えずに家全体を資料館として活用し、図書や所蔵品を公開することが石川恒夫氏の希望であった。	一部老朽化した部分があるので、市指定文化財の手続きを踏まえて景観を考慮しながら、修繕していく必要がある。 また、公開を維持するためにも利用者数を増加する工夫が必要である。そのためには単なる市指定文化財を公開する施設から、一步踏み込んで、昔の暮らしや遊びを体験できたり、みよし市周辺の歴史などを幼児から高齢の方までそれぞれに楽しめる講座及び企画を年間を通して行う。
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している	変化した内容

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	文化財保護法、みよし市立歴史民俗資料館設置条例 みよしの伝統文化を広く紹介し、理解を深めてもらう機会を提供することは、資料館の重要な業務である。	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由 又は 内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由 又は 内容	看板・ポスター・チラシ配布等広報活動を検討する。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	資料館展示事業 ある ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容	市役所周辺の公共施設を統合すれば、維持管理業務をまとめることができ、人件費の削減につながる。
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 580401	図書、逐次刊行物（新聞・雑誌等）等整備事業				主管課名	生涯学習課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	山崎 正勝				
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち									
		基本事業	図書館の整備									
	(1)事業の概要											
	多様化する市民ニーズに対応できる情報の提供と生涯学習時代の到来に則した計画的な図書館資料の整備（図書の購入、更新、登録、配置）を行う市民の知る権利をみとすため、図書館法に基づき、計画的な蔵書更新、収集が必要不可欠である。限られた資料費でいかに新刊と定番・必須図書とのバランスをとり、購入していくか。 (仮)図書館学習交流プラザの図書の計画的な整備のため、複数年度に渡り、資料整備を行う。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						図書等購入冊数		冊				
						除籍図書冊数		冊				
						蔵書冊数		冊				
					その指標							
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		利用者のニーズに応え、最新の文芸書や、注目されている分野、新たに発生した事件に関する図書を購入した。また、既に登録した図書・雑誌などについても、配置場所(正しい位置にあるか、見やすく取り出しやすいか、など)や資料状態(汚破損の有無)の確認を行い、常に館内奉任に対応できる状態にした。										
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	(仮称)図書館学習交流プラザ開館に向け資料の拡充をすすめる。									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
購入図書 リクエスト図書(新規購入・予約・他館借受)					名 称		単 位					
					購入図書(選定・リクエスト)		冊					
					リクエスト図書受付数		冊					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
多様な市民ニーズに応えられる蔵書構成ができるようにする。図書を充実させ、利用者に満足してもらう。					名 称		単 位					
					入館者数(実数)/人口(中央)		%					
					図書利用者/入館者数(中央)		%					
(4)結果(上位基本事業の意図)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を得てもらう					名 称		単 位					
					市民1人当たりの図書利用冊数		冊					
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の 活動指標		冊	7,262	13,000	12,000	13,200	13,200	13,200				
		冊	12,911	4,474	7,000	7,000	7,000	7,000				
		冊	160,209	165,796	169,200	175,400	181,600	187,000				
(6)の 対象指標		冊	7,262	13,000	12,000	13,200	13,200	13,200				
		冊	13,104	12,814	22,500	30,000	30,000	30,000				
(7)の 成果指標		%	134.5	129.6	329.8	435.5	431.3	439.7				
		%	48	49	60	60	60	60				
(8)の結果の 成果指標		冊	5.1	5	7.8	10.3	10.2	10.2				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	04
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	10,247	41,974	30,927	31,066	31,066	31,066				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	40,000	25,240	0	0	0				
	一般財源	千円	10,247	1,974	5,687	31,066	31,066	31,066				
人件費B		千円	5,101	5,449	4,097	4,097	4,097	0				
正職員従事時間×人数		時間×人	300×4	300×4	275×4	275×4	275×4	×				
正職員以外の人件費		千円	980	980								
その他費用C		千円	50	47	47	47	47					
トータルコストA+B+C		千円	15,398	47,470	35,071	35,210	35,210	31,066				
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/冊	2	4	3	3	3	2				
		千円/冊	1	4	2	1	1	1				
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No. 580401	図書、逐次刊行物（新聞・雑誌等）等整備事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		昭和53年4月 図書館開館当初 から		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？  (仮)図書館学習交流プラザに向け、図書資料の整備が必要
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		図書館法の基本理念に基づく。開館当初からの方針による。		
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？		変化していない 変化している → 変化し出版流通の悪化が止まらない。利用者のニーズは増加・多様化しつつある。		

3 評価（SEE）	目的 妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 →	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する		
		自治事務 →	根拠法令	図書館法	この事務を行う根拠又は理由 第1条に基づく		
		(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	結びつく 結びつかない →	理由			
	有効性	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	できる → 拡大 できない → 縮小	内容			
		(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充（意図の段階は正しいか）又は絞込み）はできませんか？	できる → 追加 できない → 拡充 絞込み	内容			
	効率性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある → 影響はない	理由 又は 内容			
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない	理由 又は 内容	図書館学習交流プラザ開館により、平成28年度以降の入館者、図書利用者の増加が見込まれる。		
		(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → 庁内事業 ない → 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある → ない	内容	
		(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？（仕様や工法の変更、住民の協力など）	ある → ない	内容			
	公平性	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？（従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？）	ある → ない	内容			
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？		ある → 現状で適正 ない → 検討が必要 受益者がいない	内容				

4 改革改善案（PLAN）	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	増額	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	予算の有効利用のために、利用者の求めるものと図書館として必要なものとのバランスを考えて資料の整備を行う必要がある。そのために、資料についての研究と利用者からの情報収集に努めなければならない。					

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (D O)	事務事業名	No. 580402	図書館奉仕(図書の出借等)事業				主管課名	生涯学習課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	山崎 正勝				
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち									
		基本事業	図書館の整備									
	(1)事業の概要											
	利用者のニーズに応え、図書の貸出・返却を行い、また希望する情報を得るための補助、案内を行う。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
	図書館奉仕 カウンター業務(貸出返却、閲覧) 図書督促業務、文献複写、図書配架維持管理業務、 視聴覚資料管理業務、レファレンスサービス(読書相談)						名 称		単 位			
							貸出の総数		冊			
							入館者数		人			
							その指標					
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		カウンター業務(貸出返却、閲覧)・新聞雑誌受入業務・図書督促業務・文献複写・インターネットサービス・図書配架維持管理業務・印刷物等館内掲示業務・視聴覚資料管理業務・団体貸出業務・レファレンスサービス(読書相談、調査・研究)										
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
市民						名 称		単 位				
						人口		人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
利用しやすい図書館サービスの提供を受ける						名 称		単 位				
						読書相談件数		件				
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
利用しやすい図書館サービスを充実することにより、市民に知識や教養を習得してもらう。						名 称		単 位				
						市民1人当たりの図書利用冊数		冊				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の活動指標		冊	303,520	299,252	498,000	610,000	614,000	617,000				
		人	80,556	78,221	216,000	289,000	289,000	289,000				
(6)の対象指標		人	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401	61,744				
		件	1,355	1,438	3,000	4,000	4,000	4,000				
(8)の結果の成果指標		冊	5.1	5	8.2	10	10	10				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	04
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	574	2,023	1,239	789	789	789				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	27	27	60	60	60	0				
	一般財源	千円	547	1,996	1,179	729	729	789				
人件費B		千円	5,951	3,724	3,724	3,724	3,724	0				
正職員従事時間×人数		時間×人	300×5	250×4	250×4	250×4	250×4	×				
正職員以外の人件費		千円	800									
その他費用C		千円	43	70	70	70	70					
トータルコストA+B+C		千円	6,568	5,817	5,033	4,583	4,583	789				
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	0	0	0	0	0	0				

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No. 580402	図書館奉仕（図書の貸出等）事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		昭和53年4月 図書館開館当初 から		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		昭和46年中央公民館図書室オープン		
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？		変化していない 変化している → 変化した内容		
		利用者のニーズが多様化している		専門職員の配置 電算システムの安定した維持管理 利用状況から手狭である。（平成27年度貸出 299,252冊数）	

3 評価（SEE）	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 →	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
		自治事務 →	根拠法令	図書館法	この事務を行う根拠又は理由	
				第3条に基づく		
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	結びつく 結びつかない →	理由			
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	できる → 拡大 できない → 縮小	内容			
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充（意図の段階は正しいか）又は絞込み）はできませんか？	できる → 追加 できない → 拡充 絞込み	内容			
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない →	理由 又は 内容			
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない →	理由 又は 内容	図書館の雰囲気作り、職員の技量向上。		
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 ない → 庁外事業	類似事業名	類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない	
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？（仕様や工法の変更、住民の協力など）	ある ない →	内容			
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？（従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？）	ある ない →	内容				
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 ない → 検討が必要 受益者がいない	内容				

4 改革改善案（PLAN）	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	減額	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	図書館ネットワークを活用し、即座に情報を得られる場としての役割や、生涯学習施設のサービスポイントとしての役割を担う分館等の整備が急務である。					

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の現状 (DOC)	事務事業名	No. 580403 読書啓発事業	主管課名	生涯学習課							
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし	課長名	山崎 正勝						
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち								
		基本事業	図書館の整備								
(1)事業の概要											
市民の教養・文化の向上を進め心豊かな情操、感性を涵養し事業を行う。 ボランティア団体の育成、団体活動の積極的な受入れ。 定期講座、特別講座の開催。 読書感想文コンクールの実施。 学校における読み聞かせ活動への支援。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)								
			名 称	単位							
			講座開催数	回							
			児童生徒に感想文を依頼した件数	件							
			その指標								
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		・講座・読書感想文コンクールの実施(平成26年9月) ・ボランティア団体の育成(おはなし会実施等) ・子ども一日司書(小学校)平成26年7月21日～25日まで ・職場体験 三好中9/17～19、三好丘中12/3～5、南中1/14～16、北中11/12～14									
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)								
講座受講者 児童・生徒			名 称	単位							
			受講者(定員)	人							
			児童・生徒数	人							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)								
文学に興味をもってもらう 読書に親しんでもらう			名 称	単位							
			参加者	人							
			児童向け図書(絵本・児童書)貸出数(全館)	冊							
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)								
利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を習得してもらう			名 称	単位							
			市民1人あたりの図書利用冊数	冊							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
(5)の活動指標		回	20	21	16	16	16	16			
		件	7,200	7,400	7,700	7,700	7,700	7,700			
(6)の対象指標		人	245	385	60	60	60	60			
		人	7,200	7,400	7,700	7,700	7,700	7,700			
(7)の成果指標		人	202	364	60	60	60	60			
		冊	142,772	145,174	234,000	312,000	312,000	312,000			
(8)の結果の成果指標		冊	5.1	5	7.8	10.3	10.2	10.2			
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	04
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	811	1,675	2,430	1,050	1,050	1,050			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	39	38	36	36	36	36			
	一般財源	千円	772	1,637	2,394	1,014	1,014	1,014			
人件費B		千円	4,177	4,445	4,008	4,008	4,008	0			
正職員従事時間×人数		時間×人	185×5	185×5	269×4	269×4	269×4	×			
正職員以外の人件費		千円	1,000	1,000							
その他費用C		千円	108	93	93	93	93				
トータルコストA+B+C		千円	5,096	6,213	6,531	5,151	5,151	1,050			
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/人	21	16	109	86	86	18			
		千円/人	1	1	1	1	1	0			
		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580403 読書啓発事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和53年7月 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？  市民の図書館活動への関心、期待は、時代の要請であり、積極的に参加して自分の能力や体験を活かしたいという希望もある。そのためボランティア受入れ態勢環境は十分に整っていない。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？  多くの利用者に本に親しんでもらい、知る権利の充足を図るため開始した。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している → 変化した内容	

3 評価 (SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんでしょうか？	法定受託事務 →	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する		
		自治事務 →	根拠法令	図書館法	この事務を行う根拠又は理由 第2条に基づく		
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく → 結びつかない →	理由			
	有効性	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容			
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容			
	効率性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい → 多少影響がある → 影響はない →	理由又は内容			
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない →	理由又は内容	市民の参加をうながすためにPRを行い、参加者の増加を図る。		
		(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名	類似事業との再編の可能性	ある → ない →	内容
	公平性	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない →	内容			
		(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない →	内容			
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない →	内容					

4 改革改善案 (PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	図書館にはあらゆる年代層を対象にしたさまざまな読書啓発活動、奉仕活動が求められる。時代や社会を反映した各種の講座開催や障がい者の利便を図るためのボランティア養成、学校や地域との連携をとるなど、読書啓発活動に取り組んでいく必要がある。					



平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の現状 (DOC)	事務事業名	No. 580404	図書館友の会活動支援事業				主管課名	生涯学習課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	山崎 正勝				
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち									
		基本事業	図書館の整備									
	(1)事業の概要											
	図書館読書活動を積極的に行うために、図書館友の会に補助金を交付する。 補助率：2分の1 補助上限：95千円 ただし、補助上限の執行ができなくなったため、平成28年度より 上限50千円とする。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						活動回数		回				
						その指標						
	(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)					・役員会(年3回)・文学散歩・手作り絵本展・古本バザー・おはなし会(定例会・かるた会・クリスマス会) ・ボランティア活動(特別整理期間に清掃、本の整理等協力) ・読み聞かせなどの事業の実施に対し補助金を交付し支援する。 ・おはなしふれあいフェスティバル開催。						
28年度計画	前年と同様 変更あり		変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
図書館友の会加入団体					名 称		単 位					
					団体数		団体					
					会員数		人					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
図書館事業に参加してもらう 団体が活発に活動してもらう					名 称		単 位					
					図書館友の会の活動へ参加した延べ人数		人					
					団体活動人数		人					
(4)結果(上位基本事業の意図)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を習得してもらう。					名 称		単 位					
					市民1人当たりの図書利用冊数		人					
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の 活動指標		回	130	130								
(6)の 対象指標		団体	10	4								
		人	104	41								
(7)の 成果指標		人	2,200	600								
		人	1,550	250								
(8)の結果の 成果指標		人	5.1	5								
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	04
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	49	24	0	0	0	0				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	49	24	0	0	0	0				
	人件費B		千円	2,948	3,180	2,980	2,980	2,980	0			
正職員従事時間×人数		時間×人	200×4	200×4	200×4	200×4	200×4	×				
正職員以外の人件費		千円	200	200								
その他費用C		千円	43	47	47	47	47					
トータルコストA+B+C		千円	3,040	3,251	3,027	3,027	3,027	0				
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)	千円/ 団体		304	813								
	千円/ 人		29	79								
	千円/											

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	580404	図書館友の会活動支援事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？	
	昭和53年7月		から	
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		市民の図書館活動への関心、期待は、時代の要請であり、積極的に参加して自分の能力や体験を活かしたいという希望もある。そのためボランティア受入れ態勢環境は十分に整っていない。	
多くの利用者に本に親しんでもらい、知る権利の充足を図るため開始した。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化し人口は開設当初の予想より上昇をしており、		
変化している		内容 住民の図書館活動への関心、期待が大きい。		

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
		自治事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する みよし市図書館団体育成事業補助金交付基準、図書館法	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく	→	理由		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容		
	できない	→	拡大			縮小
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容		
	できない	→	追加			拡充
	有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	→	理由又は内容	
		多少影響がある	理由又は内容			
		影響はない				
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	市民にPRを行い、講座・研修などを開催し、友の会の活動に参加できるようにする。		
(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業名	ある	内容	
ない	→	庁内事業				庁外事業
効率性	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容		
		ない				→
		受益者がいない				

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	未評価年度	事業費の方向性	未評価年度	成果の方向性	未評価年度
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	図書館友の会加入団体の減少による役員の負担、補助金の対象経費制限と収入不足、サンライズへの移転に伴う文化協会や生涯学習クラブなどの団体との整合性を図る必要があるなどの理由から友の会を解散し、図書館ボランティア支援団体として登録し活動を支援していく。					

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現 状 ( D O )	事務事業名	No. 580405	図書館電算事業				主管課名	生涯学習課		
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	山崎 正勝		
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち							
		基本事業	図書館の整備							
	(1)事業の概要									
	蔵書管理、貸出業務、各種統計等の図書館業務を行う。また、最近の情報の高度化に対処し、ネットワークの推進を行い、利用者ニーズに対応してゆく。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)			
							名 称		単 位	
							中央図書館入館者数		人	
							図書館インターネット利用者数		人	
							インターネット蔵書検索システムアクセス数		件	
						その指標				
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		図書にICチップの装備を進め、新図書館の準備をした。図書館システムを更新し、クラウド化を行った。								
28年度計画	前年と同様 変更あり	▼		変更内容						
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)				
市民						名 称		単 位		
						人口		人		
						その指標				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)				
貸出・返却を行う 正確な図書館サービスの提供を行う						名 称		単 位		
						貸出冊数		冊		
						トラブル発生件数		件		
						その指標				
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)				
利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を習得してもらう						名 称		単 位		
						市民1人あたりの図書利用冊数		冊		
						その指標				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値		
(5)の活動指標		人	80,556	78,221	202,500	270,000	270,000	270,000		
		人	990	883	1,350	1,800	1,800	1,800		
		件	710,644	536,528	1,045,500	1,394,000	1,394,000	1,394,000		
(6)の対象指標		人	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401	61,744		
(7)の成果指標		冊	303,520	299,252	480,000	640,000	640,000	640,000		
		件	0	1	0	0	0	0		
(8)の結果の成果指標		冊	5.1	5	7.8	10.3	10.2	10.2		
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05
							目	04		
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値		
事業費(決算又は予算額)		単位	7,712	9,016	19,840	20,370	20,370	20,370		
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	7,712	9,016	19,840	20,370	20,370	20,370		
人件費B		千円	3,091	3,352	2,607	2,607	2,607	0		
正職員従事時間×人数		時間×人	225×4	225×4	175×4	175×4	175×4	×		
正職員以外の人件費		千円								
その他費用C		千円	97	100	100	100	100			
トータルコストA+B+C		千円	10,900	12,468	22,547	23,077	23,077	20,370		
単位あたりコスト		千円/人	0	0	0	0	0	0		
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/								
		千円/								

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580405 図書館電算事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和62年4月から から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？  効率よく正確な図書の管理運用のため	平成22年度より愛知県図書館オンライン化により電算システムの適正な維持管理をする必要が生じてきたため、インターネット図書検索システムの構築が課題となっている。
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化しインターネット環境の充実と普及、情報を提供するための機器として認識された	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 →	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務 →	根拠法令	なし
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく →	理由	
		結びつかない →		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 →	内容	
		できない → 縮小 →		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 →	内容	
		できない → 拡充 → 絞込み →		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい →	理由又は内容	
		多少影響がある →		
	影響はない →			
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる →	理由又は内容	図書館施設の充実を行うことで、インターネット予約を全面開放する。	
	できない →			
(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 →	類似事業名		
	ない → 庁外事業 →	類似事業との再編の可能性	ある → 内容	
			ない	
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある →	内容		
	ない →			
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある →	内容		
	ない →			
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 →	内容		
	ない → 検討が必要 → 受益者がいない			

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	今後IT社会はさらに拡大し、広い世代にわたり本格的な展開が予想される。図書館においても、最新の情報管理が一層求められる。電子図書、インターネット専用回線を活用した高度な情報交換システム必要となっている。					

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業の現状（DO）	事務事業名 No. 580406 図書館協議会運営事業		主管課名 生涯学習課												
	この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		課長名 山崎 正勝										
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち												
		基本事業	図書館の整備												
	(1)事業の概要														
	図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対し意見を述べる機関（図書館奉仕＝図書館の収集貸出、図書目録整備、読書相談、相互貸借、読書会奨励、参考業務、学校等との協力）			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)											
				<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>役員会開催数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	役員会開催数	回					その指標	
	名 称	単 位													
	役員会開催数	回													
その指標															
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)			役員会（年2回）及び視察研修（清洲市立図書館）委員会の構成・・・図書館利用団体、社会教育委員会代表、PTA代表、学校教育課指導主事 計8名												
28年度計画		前年と同様 変更あり	変更内容												
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)												
図書館協議会委員			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>協議会委員</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名 称	単 位	協議会委員	人							
名 称	単 位														
協議会委員	人														
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)												
図書館協議会委員を通し、多くの意見をもらう			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>意見の数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>意見を取り入れた数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名 称	単 位	意見の数	件	意見を取り入れた数	件					
名 称	単 位														
意見の数	件														
意見を取り入れた数	件														
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)												
利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を習得してもらう			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>市民1人あたりの図書利用冊数</td> <td>冊</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名 称	単 位	市民1人あたりの図書利用冊数	冊							
名 称	単 位														
市民1人あたりの図書利用冊数	冊														
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標															
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値							
(5)の活動指標		回	3	3	3	3	3	3							
(6)の対象指標		人	8	8	8	8	8	8							
(7)の成果指標		件	14	10	11	11	11	11							
		件	10	5	9	9	9	9							
(8)の結果の成果指標		冊	5.1	5	7.8	10.3	10.2	10.2							
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	04				
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値							
事業費(決算又は予算額)		単位	165	170	246	246	246	246							
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0							
		県支出金	千円	0	0	0	0	0							
		地方債	千円	0	0	0	0	0							
		その他	千円	0	0	0	0	0							
		一般財源	千円	165	170	246	246	246	246						
人件費 B		千円	2,370	3,687	2,235	2,235	2,235	0							
正職員従事時間×人数		時間×人	230×3	330×3	200×3	200×3	200×3	×							
正職員以外の人件費		千円													
その他費用 C		千円	22	28	28	28	28								
トータルコスト A+B+C		千円	2,557	3,885	2,509	2,509	2,509	246							
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	320	486	314	314	314	31							

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580406 図書館協議会運営事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和52年10月19日 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？  図書館の運営に対し、いただいた意見等を事業に反映する
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？  図書館法第14条に設置規定があり、図書館の運営に対する市民の意見を反映するため。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 図書館法第14条、15条、16条及びみよし市立図書館設置条例 この事務を行う根拠又は理由 図書館の適切な運営のため	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 できない → 縮小	内容	公務多忙につき、校長代表1名を削減。
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 できない → 拡充 絞込み	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない	理由又は内容	運営が適切に行われており、意見等も事業に反映している。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → 庁内事業 ない → 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない	内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 ない → 検討が必要 受益者がいない	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の現状 (DOC)	事務事業名	No. 580407	図書館施設管理事業				主管課名	生涯学習課														
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	山崎 正勝														
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち																			
		基本事業	図書館の整備																			
(1)事業の概要																						
図書館施設の維持管理を行い、安全で利用しやすい図書館サービスの提供を行う。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)																
						<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td colspan="2">入館者数(中央図書館)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開館日数(中央図書館)</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>					名 称		単 位	入館者数(中央図書館)		人	開館日数(中央図書館)		日	その指標		
名 称		単 位																				
入館者数(中央図書館)		人																				
開館日数(中央図書館)		日																				
その指標																						
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)																						
光熱水費の支払い。図書館運営に必要な窓口職員の配置。年に一度の曝書(棚卸し)を行い、図書資料と施設の維持管理。水銀灯修繕、冷却水ポンプ取替修繕、自動火災報知設備修繕、駐車場標識修繕他。																						
28年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容																		
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)																
中央図書館						<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td colspan="2">延床面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>					名 称		単 位	延床面積		m <sup>2</sup>	その指標					
						名 称		単 位														
						延床面積		m <sup>2</sup>														
その指標																						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)																
来館者が快適、安全に利用できる施設にする。						<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td colspan="2">図書館施設への苦情件数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>					名 称		単 位	図書館施設への苦情件数		人	その指標					
名 称		単 位																				
図書館施設への苦情件数		人																				
その指標																						
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)																
利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を習得してもらう。						<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td colspan="2">市民1人あたりの図書利用冊数</td> <td>冊</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>					名 称		単 位	市民1人あたりの図書利用冊数		冊	その指標					
名 称		単 位																				
市民1人あたりの図書利用冊数		冊																				
その指標																						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																						
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値														
(5)の活動指標		人	80,556	78,221	202,500	270,000	270,000	270,000														
		日	291	291	197	289	289	289														
(6)の対象指標		m <sup>2</sup>	879	879	3,253.04	3,253.04	3,253.04	3,253.04														
(7)の成果指標		人	2	5	4	5	5	5														
(8)の結果の成果指標		冊	5.1	5	7.8	10.3	10.2	10.2														
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	04										
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値														
事業費(決算又は予算額)		単位	22,805	23,257	61,583	59,358	59,358	59,358														
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0														
		県支出金	千円	0	0	0	0	0														
		地方債	千円	0	0	0	0	0														
		その他	千円	5	4	0	0	0														
		一般財源	千円	22,800	23,253	61,583	59,358	59,358	59,358													
人件費B		千円	19,984	20,390	76,224	76,224	76,224	76,224														
正職員従事時間×人数		時間×人	280×5	280×5	250×4	250×4	250×4	250×4	×													
正職員以外の人件費		千円	15,176	15,176	72,500	72,500	72,500	72,500														
その他費用C		千円	60	117	117	117	117	117														
トータルコストA+B+C		千円	42,849	43,764	137,924	135,699	135,699	135,699														
単位あたりコスト		千円/ m <sup>2</sup>	49	50	42	42	42	42														
トータルコスト		千円/																				
/(6)の対象指標		千円/																				

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580407 図書館施設管理事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和53年4月 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？  図書館を建設し、図書館事業を開始したため。	施設が老朽化及び手狭になっているため、市民から図書館を含めた複合施設建設の要望がある。 複合施設開館準備時には、作業員が必要となる。
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化し開館3年を経過し、施設そのものが老朽化及び人口の急増により手狭である。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 なし この事務を行う根拠又は理由 図書館で適正に管理運営するため。
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく → 結びつかない →	理由
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい → 多少影響がある → 影響はない →	理由又は内容
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない →	理由又は内容 (仮称)図書館学習交流プラザ開館により図書館の施設機能が充実し来館者の快適さや安全性の向上が見込める。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 類似事業との再編の可能性 ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない →	内容
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない →	内容
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない	内容

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持